

平成 29 年 3 月 21 日

報道各位

一般社団法人日本電気計測器工業会

熱中症計に関する日本工業規格（JIS）制定

一般社団法人日本電気計測器工業会（JEMIMA、会長 小野木 聖二）は、湿球黒球温度（WBGT）指数^{*}を測定する計測器（熱中症計）の規格を、日本工業規格（JIS）とする活動を行ってききましたが、本日（平成29年3月21日）、JIS B 7922「電子式湿球黒球温度（WBGT）指数計」として制定、公示されました。

この新しいJIS規格は、WBGT指数をより実用的に、かつ高い信頼性で測定するための計測器が対象で、JIS規格に適合したWBGT指数計（熱中症計）を労働現場、スポーツ施設などに設置して用いることにより、熱中症の発症や事故の発生の低減が期待できます。

※湿球黒球温度（WBGT）指数は、熱中症の発症と高い相関関係があるため、熱中症の発症リスク評価に使用されており、国内ではJIS Z 8504「人間工学－WBGT（湿球黒球温度）指数に基づく作業者の熱ストレスの評価－暑熱環境」として規格化されています。

《参考情報》平成27年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000125245.html>

JIS B 7922の内容は、

- 1) 適用範囲、2) 引用規格、3) 用語及び定義、4) 指数計の種類、5) 測定原理、6) 測定範囲、7) 性能、8) 構造、9) 性能試験、10) 試験報告書、11) 表示、12) 取扱説明書

などの構成となっています。

世界初となる本規格を作成するため、当工業会は規格原案作成団体としてJIS原案作成委員会を構成し、独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所の澤田晋一氏を委員長とし、一般社団法人日本人間工学会からは齊藤宏之氏を分科会主査に、厚生労働省、建設業労働災害防止協会、中央労働災害防止協会など熱中症発症防止に取り組んでいる主な機関からは委員として参加いただきました。

お問い合わせ

一般社団法人日本電気計測器工業会 事務局 高橋（電話 03-3662-8183）

以上